

さくら新聞

社会福祉法人
清風会
特別養護
老人ホーム
東かなまち桜園
〒125-0041
東京都葛飾区
東金町
2丁目13番10号
03-5876-5281

4月1日
第130号



スタッフ紹介

5階の緑ユニットのノンティリエン介護職員を紹介します。

三月の桜園

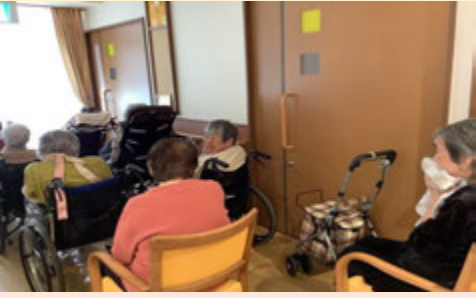
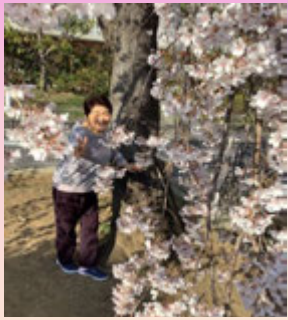


すっかり日差しが暖くなり、桜の季節となりました。年度末、別れがあれば出会いもあります。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

私がさくら新聞の表紙を作り始めてから、一年になります。急ではありませんが、次回で担当が変わります。来月号からは、新しい担当者との出会いを、お楽しみに。

一年間、ありがとうございました。

(春山)



災害を想定した
避難訓練です♪

係長の眼



この四月で十四年目の桜園が始まりました。桜の花が満開を迎える季節ですが、私にとって毎年三月～四月は桜園開設準備をしていた事を思い出す時期でもあり、当時自分が何をしたら、何を思っていたのかを振り返る時期でもあります。

という事でこんにちは、山田です。四月の桜新聞は毎年同じ書き出しとなってしまうのですが、それくらい私にとってこれほど大きな規模の施設オープニングに関わったという事は衝撃でした。

今となつてはなんの予備知識も無い状態で臨んだ訳ですから、ユニットケアについても勿論何も(本当に何も)解っていなかった為、オープン後直ぐの六月に受けたユニットリーダー研修は驚きの連続でした。

ユニットケアを実際に行っている施設で夜勤以外の勤務帯を経験する(利用者目線で)数日という研修後半が当時はメインでしたが、今思うと色々な方と何度も「ユニットケアとは何か」について考えるという(全員自施設の平面図を事前学習として持ってきている為、様々な施設の設えが学べます)ユニットケアの基礎知識を、他法人の皆とグループを組み考え答えを出していく前半の座学がとても面白かったなと思います。「炊飯器事件」の話はまた字数が足りませんので次の機会に。(山田)

○桜園で仕事をしようと思ったきっかけは？

転居したことを機に通勤しやすい葛飾区内の職場での就業を希望し、紹介会社を通じて桜園を紹介してもらい、入社に至りました。

○仕事のモチベーションとなっているのは？

日々の業務で入居者様の笑顔や「ありがとう」の言葉に触れることで大きなやりがいを感じ、仕事への意欲につながっています。

○とっておきのリラックス方法は？

美味しい料理を作ったり、好きな音楽を聴いたりする方法です。

○お休みの日は何をしていますか？

休みの日は買い物に行ったり、家の掃除をしたりして過ごしています。

○好きな食べ物や飲み物を教えてください。

カレーライス、春巻き

○尊敬している人はいますか？

父、母



先月のご馳走

【三月三日・ひな祭り】



桜稲荷・鶏肉と春野菜(筍・フキ・椎茸)・苺ババロア・清汁を提供
稲荷の中には、桜の花と葉の色や香りがする酢飯を詰め、上には錦糸卵や桜でんぶ、絹さやをのせて彩良く仕上げました。
栄養士・日下

ケアマネ便り

四月になりました。春の季節で新年度のスタートです。うらうらと暖かい毎日が続き、わくわくとした気持ちに包まれます。桜園も開設して今年で十四年目を迎えることとなりました。私も含めて職員一同これからも入居者様やご家族のことを第一に考えて努力して参ります。又、感染症に関してもこれからの室温調整などの基本を心がけて油断することなく対応して参ります。

さて、四月と言えば「お花見」ですね。きれいに咲いた桜の花を見上げると、心まで明るくなります。桜園の「ソメイヨシノ」は満開に咲き誇り、入居者様にも散歩がてらお花見を楽しんでいただきました。
(介護支援専門員・滝澤)

～さくら、ひらひら 2-3 2-4 梅見 お花見 ころも、うららか～



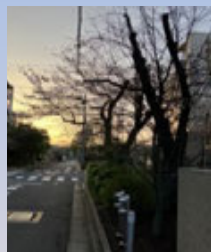
相談員より

令和八年度がスタートし、早いもので桜園も十四年目に入りました。
さて、昨今の世の中の大きな動きとして団塊の世代が皆後期高齢者となり、これからいよいよ本格的な高齢化と生産年齢人口減少の局面に入ると言われています。ソーシャルワーク関連で言えば、単身世帯が拡充し、繋がり希薄化が進行する中、所謂身寄り問題にどう対応していくか、判断能力の不十分な人の要する権利擁護支援をいかに確保していくかなど、課題が多く見えてきています。今後増えていくと予測される頼れる身寄りのない高齢者等への対応は、成年後見制度の見直しと合わせて共通している事柄が多く、今後の改正内容などの動きにも注視していく必要性を感じています。
(相談員・三賢)

機能訓練指導員より

四月はやはり桜の話題が満載のさくら新聞です。今年も駐車場のしだれ桜が咲くと、桜園を見守ってくれているような気がして安心しました。

桜に関して私が好きな言葉に花筏(はないかだ)という言葉があります。桜の花が散って花びらが水に帯状に浮かんで流れる様子を「筏」に見立てた表現です。日本人は昔から桜を感性豊かに表現して楽しんできたのだと思います。この言葉を知ってから、桜の花びらが水面や地面に落ちている姿にも風情を感じるようになりました。
(機能訓練指導員・伊藤)



シヨートの様子

♪日中のご様子♪



桜の季節となりましたね。きれいなさくらが咲きました。